

# 救出

## 新潟・中越地震

# 土砂崩れ車中から

# 長女も発見母は死亡

新潟県中越地震で行方不明になっていた同県小出町の主婦皆川貴子さん(36)と幼い二人の子供が二十七日午後、長岡市の土砂崩れ現場で見つかった。長男優太ちゃん(3)は岩のすき間で生存、本震から約九十二時間ぶりに救出され、長岡市の長岡赤十字病院に運ばれ手当てを受けた。つぶれた乗用車内で岩に体を挟まれていた貴子さんは、同病院に搬送後、死亡が確認された。

この日の救出活動は午後一時すぎに開始。警視庁から派遣された救助犬が反応し、東京消防庁が持ち込んだ電磁式の人命

## 新潟・中越地震男児救出

# 看護師見て「ママ」

# 母息絶え、分けた明暗

土砂の中で四日間、救出を待ち続けた皆川貴子さん(36)と幼い二人の子供。二十七日午後、長男優太ちゃん(3)は奇跡的に助け出され、「ママ」とつぶやいた。しかし、最愛の母、貴子さんは既に息絶え、長女真優ちゃん(3)も救出が遅れた。激しい地震に見舞われた二十三日夜以来、岩に押しつぶされた車内で、懸命に生きようとした母子。余震が続く中、妻子の無事を祈った貴子さん(36)は、優太ちゃんの手を握り、つかの間の喜びをかみしめたが、貴子さんの死を知り、泣き崩れた。

(1面参照)

積み重なる巨岩のすきり返した。泥だらけの小一新潟県長岡市の土砂崩れ現場で繰り広げられた救出劇。母は車の中で冷た

看護師だった。新潟を二十三日に襲った巨大地震。車で遊びに行き、帰る途中で消息が途絶えた妻と二人の子供。「生きていて」。単身赴任中の貴さんは、ひたすら祈った。二十七日午前には勤務先の会社が契約したヘリ

か、目は真っ赤だった。救出された。はだしの足が暗くなり始めた午後四時三十五分。ライトに照らされた車から貴子さんの体やと外へ。毛布にくるまれ担架で運び



皆川貴子さんと長女真優ちゃん(左)、長男の優太ちゃん

大人の背丈ほどもある岩が作業を阻む。絡み付く木の枝や根をのこぎりで切り、シャベルや手を使い慎重に掘り出していく。途中で、余震で岩場が大きく揺れた。しゃがみ込む隊員。不安そうに上の方をじっと見詰めた。揺れは何度も襲いかかる。貴子さんには大きな岩がのしかかっていた。辺りが暗くなり始めた午後四時三十五分。ライトに照らされた車から貴子さんの体やと外へ。毛布にくるまれ担架で運び